

宿 舎（自動車保管場所）貸 与 申 請 書

広島大学長 殿

〇〇年 〇〇月 〇〇日

現 住 所 〇〇市〇〇町1-2-3 〇〇職員宿舎〇号棟〇〇〇号室

所属部局名 〇〇研究科

職 名 教授

フリガナ ヒロダイ タロウ

氏名（自署） 広大 太郎

下記記載の自動車の保管場所の貸与を受けたいので申請します。自動車の保管場所を含め宿舎の使用については、関係規則及び指示に反しないことを確約します。

| | | | |
|-----------|-----------|------------------|--------------|
| 自動車の車名・型式 | 会社名・車種・型式 | 自動車の プレートナンバー | 広島〇〇 あ 12-34 |
| 自動車の所有者 | 広大 花子 | (被貸与者との続柄) | 妻 |
| 自動車の使用者 | 広大 花子 | (被貸与者との続柄) | 妻 |

宿 舎（自動車の保管場所）貸 与 承 認 書

年 月 日

広島大学長 越智 光夫

上記申請者に対し、下記のとおり自動車の保管場所の貸与を承認します。

記

1 宿 舎

| 種 類 | 所 在 地 | 宿 舎 名 及 び 戸 番 |
|-----------|----------------|----------------|
| 有 料 | 〇〇市〇〇町1-2-3 | 〇〇職員宿舎〇号棟〇〇〇号室 |
| 指定保管場所 | | |
| 専用開始日 | 保管場所に係る宿舎使用料月額 | 備 考 |
| 〇〇年〇〇月〇〇日 | | 裏面の貸与の条件参照 |

車の購入日・宿舎の入居日など駐車場利用開始日を記載してください。

管理人

- (1) 被貸与者（自動車の保管場所の貸与を受けている者をいう。以下同じ。）は、善良な管理者の注意をもって自動車の保管場所を使用しなければならない。
- (2) 被貸与者は、自動車の保管場所の全部若しくは一部を第三者に貸し付け、若しくは自動車の保管場所の用以外の用に供し、又は承認を受けずに改造その他の工事を行ってはならない。
- (3) 被貸与者は、その責に帰すべき事由により自動車の保管場所を滅失し、損傷し、又は汚損したときは、遅滞なくこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。
ただし、その滅失、損傷又は汚損が故意又は重大な過失によらない火災に基づくものである場合には、この限りでない。
- (4) 天災、時の経過その他被貸与者の責に帰すことのできない事由により自動車の保管場所が損傷し、又は汚損した場合において、その損傷又は汚損が軽微であるときは、その修繕に要する費用は被貸与者が負担しなければならない。
- (5) 被貸与者が次の各号の一に該当することとなった場合には、その該当することとなった日から20日以内に自動車の保管場所を明け渡さなければならない。
 - イ 職員でなくなったとき。
 - ロ 死亡したとき。
 - ハ 転任、配置換、勤務する官署の移転その他これらに類する事由により、当該宿舎に居住する資格を失い、又はその必要がなくなったとき。
 - ニ 自動車の保管場所について先順位者が生じたため、その明渡しを請求されたとき。
 - ホ 自動車の保管場所の廃止をする必要が生じたため、その明渡しを請求されたとき。
- (6) 被貸与者は、大学が工事等宿舎の維持管理のため、一時的に自動車の保管場所の明渡しを請求した場合には、これに従わなければならない。
- (7) 被貸与者が自動車の保管場所を明け渡す場合には、明け渡す日の10日前までに明け渡す日を届け出るとともに、自動車の保管場所を正常な状態において引き渡さなければならない。
ただし、やむを得ないときは、この限りでない。
- (8) 被貸与者は、その使用する自動車の車名・型式、登録番号等に変更が生じた場合には、速やかに宿舎担当者へ届け出なければならない。
- (9) 宿舎の維持管理の必要に基づき、大学において自動車の保管場所を調査するときは、被貸与者は正当な事由なくこれを拒んではならない。
- (10) 宿舎内における盗難、損傷等の事故により、被貸与者が受けた損害については、大学は一切その責任を負わない。
- (11) 上記のほか、被貸与者は自動車の保管場所及び自動車の使用についての指示に反してはならない。